

令和3年度 事業報告書
令和3年5月19日から令和4年3月31日まで

一般社団法人みらいのいばしょ研究所

1 事業実施の状況

令和3年度（初年度）は、当法人の目的である不登校、ひきこもり、発達障害児者等の支援のために「学習支援事業」「心理相談事業」を中心に事業を行った。

「学習支援事業」では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、主にオンラインでの支援を行った。具体的には、不登校の児童、通信制高校に在籍中の児童を対象に、延べ80回程度の学習支援を提供した。「心理相談事業」では、生きづらさを持つ若者を中心に延べ30回程度の相談を実施した。また、心理相談業務に付帯して、不登校の児童向けの心理ワークの実施、支援者向けのメンタルヘルスの研修講師の受託等を行った。また、「居場所づくり事業」を令和4年度から開始するため、事務所を借り整備を行った。令和4年4月に開所予定である。

さらに、他機関との連携を目指し、県内の不登校、ひきこもり支援機関、中間支援機関との交流を図った。すなわち、前橋市内のフリースクール、フリースペース、前橋市市民活動支援センター、群馬県共同募金会、前橋市社会福祉協議会等と連携、情報交換、情報共有等を行った。

2 今後の活動方針

引き続き、不登校、ひきこもり、発達障害等の児童、若者の支援を行うため、学習支援事業、心理相談事業を行っていく。

加えて、不登校、ひきこもり、発達障害等の児童、若者が通い、集うことのできる居場所を作り、フリースクール機能、フリースペース機能を備える。

また、支援の専門性を確保するための研修と研鑽の機会の確保、運営基盤の安定のための資金調達方法や運営方法の模索、寄付・賛助会員・ボランティアの参加等による活動の安定と拡大を図っていく。

3 事業実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
学習支援事業 (収益事業)	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した、心理的ケアを備えた学習支援の実施	通年	主にオンライン(事務所から配信)	延べ80人	不登校、ひきこもり、発達障害等に悩む児童 延べ約80回	65
心理相談事業 (非収益事業)	新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮した、心理相談、心理教育の実施	通年	主にオンライン(事務所から配信)	延べ30人	不登校、ひきこもり、発達障害等に悩む児童、若者およびその家族 延べ約30回	155
居場所づくり事業 (収益事業)	事務所の整備	随時	前橋市下沖町	3人	—	387